



澤畑義照議員

質問 世界的経済不況の中で、茶業者は本年度収益が昨年と比較して40%減となっていて大きなショックを受けている現状である。町としてこの現象をどのようにとらえて対策を講じようとしているか伺う。

町長 茶産業農家の経営不況対策についてですが、農協の一番茶生産概況報告によりますと川根本町地域の生産概況、煎茶の取引状況ですが、生葉生産数量は前年比88%取引単価平均前年比90%取引荒茶量では前年比91%と昨年より金額、数量共にきびしい状況です。

川根本町の共同茶工場が一番茶の状況ですが生葉数量109万4千キロの前年比88%荒茶数量25万3千キロの前年比91%荒茶平均単価では前年比91%と同じくきびしい結果となりました。しかしこのような厳しい状況の中においても、前年より平均単価のアップした工場も数件あります。このことは、ここ近年、産地、工場間格差が大きいです。基本管理の不備による品質低下も下落の要因に繋がっています。本年の一番茶は、相場動向を意識して摘採を早めに始め短期操業に徹した茶工場や茶商、JA等が求めるも



摘採風景

のが臨機応変に生産できた茶工場では、前年と比較しても価格の反動は少なかつたと思われまます。町としては、昨年度実施した農家意向調査や今年度実施するマーケティング調査等を踏まえ、急激に変化している地域農業を

取り巻く状況に迅速に対応していくため、今後の町農業振興の目指すべき方向、基本目標を明確にした「川根本町農業振興計画」を作成します。

答

- 基本目標を明確にし作成
- PRをして、利用を図りたい
- 手当を支給している

①既存の公共交通機関を最大限に利用し、営業に支障のないルートを検討すること
②公共施設や診療所へのアクセスの利便性を確保すること
③高齢者に対応している外出支援サービスの補完的な運行をすること、以上の3点を柱とし、町バス路線対策委員会におきまして、そのルートについて検討していただきます。開始されたばかりであるためPRをもう少しすべき、予約の柔軟な体制が必要ではないかという意見が出ております。

問

- 茶産業農家の経営不況対策について
- 北部町営バス運行状況と問題点について
- 在宅介護について

質問 町内には家族が障害者を介護している状況があるが介護者に対して町からの助成ができないかを問う。
町長 町には福祉介護手当を支給する制度があります。在宅の寝たきり障害者など介護する家族等の心身的な負担を軽減するために設けられているもので65歳未満の在宅で6ヶ月以上の寝たきりの障害者や重症心身障害者のほか、要介護3以上の老人を6ヶ月以上わたり在宅介護する方に対して月額7千500円の手当を支給する制度であります。